

事業概要表（草の根協力支援型）

I. 事業の概要	
1. 対象国名	モンゴル国
2. 事業名	モンゴルにおける牧草飼料生産にかかる農作業請負組織化促進事業
3. 事業の背景と必要性	<p>モンゴル政府は安定的な牧畜営農政策を進めており、遊牧型から定住型の酪農家が増えつつある。トゥブ県では社会主義時代に国营農場も設置され、現在も酪農が盛んだが、国营農場解体後、冬季間、乳牛の飼育に必要な良質の飼料の確保が困難で、乳の質も供給量も不安定である。乳質改善と乳量増大のためには、安定的な飼料の確保が急務であるが、広大な採草地を管理できていない。草地管理には農業機械の活用が必要と認識されているものの、中小規模酪農家には、農機を揃えるための資金力が不足しており、行政および金融機関等からの十分な支援もない。モンゴル科学技術大学（TANAラボ）では、飼料生産増のための農作業請負組織化を推進している。この組織が採草地の維持管理を酪農家から受託することにより、コスト削減、人手不足解消が期待される。しかし具体的な運営方法等のノウハウがないため、日本の手法を学び、行政や民間企業との連携を深めたいとしている。</p>
4. プロジェクト目標	トゥブ県において牧草生産を担う農作業請負組織化のための環境が整備される。
5. 対象地域	トゥブ県
6. 対象地域を管轄する大使館および領事館	在モンゴル日本国大使館
7. 本事業の対象となる人々	農牧業省、トゥブ県農業局、バトスンベル村、モンゴル生命科学大、モンゴル高等専門学校、トゥブ県内の酪農家
8. 事業活動	<p>1. 行政関係者が酪農家の農作業機械化支援の方針を検討する</p> <p>1-1. ベースライン調査（オンライン）</p> <p>1-2. オンライン教材の作成</p> <p>1-3. 牧草生産作業の機械化についての研修（オンライン）</p> <p>1-4. 機械化農業推進のための行政機関向け研修（本邦）</p> <p>1-5. モンゴルに合った機械化推進支援アクションプラン検討会（本邦）</p> <p>1-6. 「組織化委員会」メンバーによる委員会運営方法の検討会（現地・オンライン）</p> <p>1-7. MATI フォーラム等における、検討内容の発表と意見交換（現地）</p> <p>2. 教育機関がコントラクター組織化について理解する</p> <p>2-1. ベースライン調査（オンライン）</p> <p>2-2. コントラクター組織の事業計画検討のための研修（オンライン）</p> <p>2-3. TANA ラボ向けコントラクター組織運営の仕組み研修（本邦）</p> <p>2-4. コントラクター組織の事業性の検討会（現地・オンライン）</p> <p>2-5. MATI フォーラム等における、検討内容の発表と意見交換（現地）</p> <p>3. 酪農家が牧草生産機械化のメリットを理解する</p> <p>3-1. ベースライン調査（オンライン）</p> <p>3-2. オンライン教材の作成</p> <p>3-3. 牧草生産作業の機械化についての研修（オンライン）</p> <p>3-4. MATI フォーラム等における、検討内容の発表と意見交換（現地）</p>
9. 実施期間	2021年5月～2023年2月（1年10ヵ月）
10. 事業費概算額	9,998千円
11. 事業の実施体制	日本側実施団体：十勝農業機械協議会 現地 CP：モンゴル科学技術大学
II. 提案団体の概要	
1. 団体名	十勝農業機械協議会
2. 活動内容	畑作、酪畜用機械を製造販売する十勝の43企業で構成され、農業機械の普及促進、農業の発展と近代化の推進に寄与する活動を行っている。